

学童クラブの運営に関する報告会の報告書

日頃より、日野市の学童クラブ事業にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
令和7年11月20日(木)において『学童クラブの運営に関する報告会』を開催しました。
ご多忙の中、ご参加いただきありがとうございます。
つきましては、当日の報告会内容について、以下のとおり報告をさせていただきます。
今後とも、学童クラブ事業にご理解を頂きますようお願い申し上げます。

【実施日時】

11月20日(木) 午後7時から午後8時(予定)

【会場】

子ども包括支援センターみらいく3階 多目的室

【内容】

学童クラブの運営に関する報告会 (Web開催 同日同時刻開催)

【報告内容】

民間活力導入について

令和7年度の学童クラブ入所状況について

入所児童数及び令和5年度～7年度の推移について

令和7年度学童クラブアンケートについて

学童クラブ運営に関する情報共有等について

・電子申請の導入及び令和6年度から令和8年度の申請状況について

・児童館長及びエリアマネージャーからひと言

学童クラブと児童館とのかかわり、学童クラブとエリアマネージャーのかかわり

学童クラブでのお子さんの様子

・質疑応答(0件)

【ひの児童館館長からひと言】

学童クラブと児童館の関係についてお話しします。

学童クラブで大きなトラブルが起きた場合や日常業務での相談がある場合、学童クラブは所管する児童館に報告や相談を行います。市内の学童クラブは4つのブロックに分けられ、それぞれの学童クラブが担当の児童館と連携する仕組みとなっています。

児童館は、館長が不在の場合でも職員が対応し、状況によっては、児童館から子育て課へ報告や相談を行うことがあります。これらの体制により、学童クラブ、児童館、子育て課が連

携して子どもたちが安全で安心して過ごせるよう支援しています。

また、児童館長やエリアマネージャーによる施設巡回を定期的に行っており、子どもたちの様子を確認したり、学童クラブ職員の業務に関する悩みや相談を受けたりしながら運営をサポートしています。

児童館は、学童クラブを卒業したお子さんの新しい居場所としても機能しています。特に学童クラブ卒所後の春休みには、弁当を持って児童館を利用するお子さんが多く見られます。卒所後は少なからず不安が伴うこともありますが、児童館では"今度は児童館が新しい居場所として待っているよ"というメッセージを送り、子どもたちを支えています。

児童館は、4年生、5年生、6年生、それ以上の中学生、高校生まで利用できる施設であり、学童クラブを卒業した後も、安心して過ごせる場所として運営しています。今後とも児童館をぜひご活用ください。

【エリアマネージャーからひと言】

＜ひらやまブロック エリアマネージャーより＞

今回は、学童クラブでのお子さまの様子や、職員がどのように子どもたちと関わっているかについてご報告します。

学童クラブは基本的に学校の放課後に利用する施設であり、お子さまは自分の足で通ってきます。学童クラブを楽しみにしている子もいれば、疲れていたり、ゆっくり休みたいという気持ちを持つ子もいます。異年齢の子どもたちが集まるため、野球チームや塾のような目的集団ではなく、さまざまな家庭環境や個性をもつ子どもたちが互いに遊びや生活を通じて育ち合う場となっているのが特徴です。職員は、一人ひとりの思いに寄り添いながら、子ども同士の関わりを丁寧に育み、毎日安心して過ごせるよう関わっています。

普段は学校の下校後から17時の集団降所までの時間となり、学童クラブで過ごす時間は長くはありませんが、友だちや職員との濃い時間を過ごしています。土曜日や短期休業日、学級閉鎖日には朝から夕方までの「一日育成」を行い、ゆったり過ごせることで、お子さまの新たな一面が見られることもあります。特に夏休みは、友だち同士の関係が深まる機会にもなっています。

学童クラブに着くと「ただいま！」と言って帰ってきて、職員が「おかえり！」と迎えます。このやり取りが学童クラブの温かい雰囲気の象徴です。

学童クラブでは遊びが一番大切にされており、自由遊びや集団遊び、外遊びなど、子どもたちは思い思いに遊びを楽しんでいます。施設の規模や条件によりできることには限りがありますが、できる限り多様な遊びができる環境作りを大切にしています。遊びのあとは、おやつや片付け、掃除の時間があり、おやつは全員一緒に食べたり、子どものタイミングで食べるスタイルも取り入れています。おやつ当番や片付けを通じて、所属感や責任感を育むことも意識しています。

夕方の降所前には、帰りの会で気持ちを落ち着かせたり、なぞなぞや紙芝居、職員から明日

の連絡をしたりして、1日を振り返ります。友達同士で楽しく過ごす一方、ときにはトラブルやケンカもありますが、その際は職員が聞き取りや話し合いをサポートし、子どもたちが自分で解決できるよう支援しています。

学年が進むにつれて、ドッジボール大会やお楽しみ会など、子どもたちの活動の発表や保護者の皆様にご覧いただける機会も増えています。

＜さかえまちブロック エリアマネージャーより＞

エリアマネージャーと学童クラブの関わりについてご報告させていただきます。

学童クラブは児童館の分室という位置づけで、日野市内には4つの児童館ブロックがあり、それぞれに対応するエリアマネージャーが配置されています。エリアマネージャーの主な役割は、担当の学童クラブの現場を訪問し、子どもたちの様子の確認や施設運営のサポートを行うことです。また、子どもの状況に応じて児童館や子育て課などの関係機関と連携し、必要なサポートを行っています。

さらに、平成31年度から始まった学童クラブの民間委託に際しては、直営の学童クラブから民間に引き継ぐ際の調整やサポートを担当しています。1月から3月の間、直営学童クラブの職員と民間学童クラブの新職員が合同育成を行い、業務や子どもたちの情報を丁寧に引き継ぎます。子どもたちは新しい職員との出会いに不安を感じることがありますが、3カ月間慎重に引き継ぎを行うことで円滑な運営を目指しています。その後も4月以降、学童クラブが安定して運営されるようサポートしています。

また、学童クラブは学校やひのっち、児童館との連携も大切にしています。放課後を過ごす子どもたちの心をしっかりと支えるため、共に放課後を守っている、ひのっちのコーディネーターや児童館職員と情報共有を行い、日野市の会議への参加や学校の担任教員との情報連携も継続的に行ってています。年度の初めには、学校との協力を深めるためのルール確認などをを行い、子どもたちを見守る環境を整えています。

引き続き、子どもたちが安心して過ごせる環境を作るために尽力してまいります。